



日本歌曲次の時代へ



演奏会情報

♪第5回大津康平バリトンリサイタル

～平成日本歌曲の花束～
2019年1月20日(日) 17:30 開演
東京日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 2,500円
大津康平(バリトン) 谷本喜基(ピアノ)

■お問合せ: 一般社団法人 東京国際芸術協会
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555
<http://tiaa-jp.com>

バリトン 大津康平

と感じている。

ヨーロッパ起源である、いわゆる「クラシック音楽」は、明治時代に日本国に持ち込まれた。我々声楽家が日頃歌っているオペラアリア、歌曲といったクラシック音楽と呼ばれるものは、まさに西洋音楽の枠組みの中にあるもので、本場・ヨーロッパが育んできた西洋音楽史の長き年表は、日本におけるクラシック音楽を見つめなおした時に、当然ではあるがそれは比喩ものにならない。

それでも先人達が遺してきた日本歌曲は優れていて、例えば滝廉太郎・山田耕筰らの作品は今日も多くの人に愛され、輝きを放ち続けている。「価値のある作品を歌い継ぐこと」、そして「未来に響き渡る新たな日本歌曲の創作」は私の使命だ

第5回大津康平バリトンリサイタルを、平成最後となる2019年の1月20日に日暮里で開く。今年のテーマは「平成が生んだ日本歌曲」。それを1時間のプログラムでまとめるには足りないのだが、平成日本歌曲の名作として新実徳英・千原英喜両氏の作品を選曲した。

時代とともに作風の流行も移り変わる。現代に作られた歌曲というのだから、無調性で…、キムズカシイのかな…:このお客様の心配も今回は必要ない。敢えて、ノスタルジー溢れる作品を多く用意した。そしてこれらの作品が、迫り来る次の時代のその向こうでも愛され続けていることに、期待を寄せている。

初リサイタルによせて

ピアノ 石川美羽

この度、初めて自分の名前のついたリサイタルを開催させていただきます。

私にとって、特別思い入れの深い三曲を選びました。前半はウィーンをテーマに、後半はシヨパンのソナタの第三番を弾きます。

モーツアルトのK・333は、2017年春に国際コンクールであるコンテスタントが弾いているのを聴いて、大学に入学したらまず勉強したいと一年間思っていた曲です。モーツアルトの音楽の持つ優しさや天真爛漫さを皆様にも楽しんでいたみたいです。

ラヴェルのラヴァルスは、古き良き時代のウィナーワルツとそのワルツの崩壊を表した曲です。一曲のなかで様々な音型、強弱の幅、キャラクターがあります。

ソロで弾いてもオケ版や二台ピアノ版の様な音色の多彩さと華やかなワルツの雰囲気を感じて頂きたいです。

シヨパンは、同じソナタでもモーツアルトよりも和声が複雑な上に30分近くかかる大曲です。全ての和音に色を持たせた上で古典的なソナタ形式を意識して弾くのは易しくはありません。自分がこの曲からなにを感じるのかだけではなくシヨパンが意図したメッセージを演奏を通して伝えたいと思っています!

たくさんの方々に曲の魅力が伝わるように、気持ちを込めて、自分も音楽や和声を楽しんで弾きたいと思っています。またリサイタルの準備と本番で、ピアニストとして、曲に対してどのような発見があるか楽しみです!



演奏会情報

♪石川美羽ピアノリサイタル

2019年1月20日(日) 19:30 開演
東京日暮里サニーホールコンサートサロン
全席自由 2,500円

■お問合せ: 一般社団法人 東京国際芸術協会
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555
<http://tiaa-jp.com>